

第6回 百年連携カンファレンスを開催しました！

2026年6月18日、地域の医療機関の皆様をお招きし、当院主催の「第6回 百年連携カンファレンス」を開催しました。

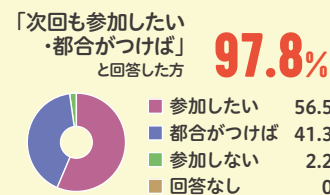
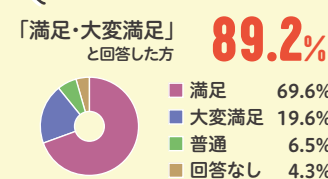
今回は、当院の診療体制や専門性についてより深く知っていただくため、4名の医師が講演しました。新設された脳神経外科の診療体制をはじめ、整形外科(手外科センター)における専門的治療と地域での役割、救急総合診療科の今後の展望、産科・婦人科における無痛分娩の安全性とホスピタリティの両立について紹介しました。

また、診療科紹介では、各科の専門性や患者さんの受け入れ体制について情報を共有しました。今後も地域の医療機関の皆様との連携をより一層深め、地域医療の充実に努めてまいります。



講演者(左上から)：脳神経外科 吉田医師
／ 整形外科 三戸医師／救急総合診療科 山田医師／産科・婦人科 下川医師

アンケートより



申込み **73名** | 参加 **58名** | 回答 **46名**

参加者の声

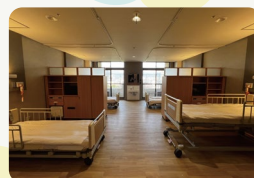
病院全体の診療の幅が広がり、患者さんを紹介する立場からは大変心強いです。

産科外来・病棟 リニューアルしました！

2026年9月、分娩を開始しました！

新しい快適な環境で、
しあわせなお産まっしぐら

24時間対応の
無痛分娩



▲ 多床室



▲ 個室



▲ 外来受付



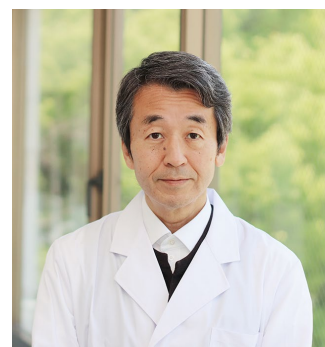
▲ 外来待合室

編集後記

この度は GENERALINK をお手にとって頂きありがとうございます。今年の夏は酷暑で体調を崩された患者様が多かったです。8月の末になりようやく和らいできたものの、まだまだ残暑が厳しいです。診療所の皆様もお忙しいとは存じますが、ご自身の体調にも何卒お気を付けて下さいませ。

今回は前回ご紹介した新たに着任されたドクターのうち、三戸医師が携わる手の整形外科を特集しました。手は日常生活で最もよく使う部位のひとつであり、不具合があると QOL の低下や意欲の低下に直結します。三戸医師は着任して間もないですが、腕前のみならず人柄も良く、すでにその専門分野で成果を上げてくれています。外科手術そのものはもちろんのことリハビリを含め、当院としてこれまで以上に広い範囲の疾患に対応できるようになったことに喜びを感じています。

救急医療については4月以降、救急車応需数が上がりました。9月以降はついに産科でお産が始まります。当院の理念である「地域になくてはならない病院になる」に、また一歩近づけたと思っています。ですが、ここで立ち止まることなく、より地域のニーズに応えられる、皆様に信頼され、安心して頂ける病院を今後も目指して参ります。今後とも神戸百年記念病院を何卒よろしくお願いいたします。



副院長
循環器病センター センター長
鈴木 秀治 Shuji Suzuki



地域医療機関向け広報誌 ジェネラルリンク

GENERALINK

総合病院の総合(GENERAL)と、連携(LINK)を組み合わせた造語になります。私たち神戸百年記念病院は、「地域になくてはならない病院になる」という理念のもと、地域の医療を共に支えるために、相互連携していきたいと強い想いを込めて作成しました。

2026.09
21

特集

手外科センター 開設



神戸百年記念病院
公式マスコットキャラクター

ヒャクペン

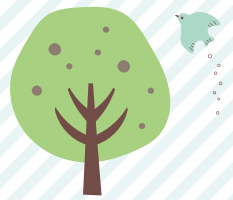


医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院

地域医療総合支援センター 〔月～金曜日〕9:00～17:30 〔土曜日〕9:00～17:00 〔日・祝日〕休み
TEL.078-681-6250 FAX.078-686-1802
〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1 TEL.078-681-6111 (代表)



医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院



手外科センター開設



01 診療体制

地域医療と専門診療をつなぐ手外科センター

手外科専門医を中心に、整形外科、救急総合診療科、リハビリテーション科が連携し、診断から治療、機能回復まで一貫して支援します。保存療法や手術療法だけでなく、ハンドセラピストによる専門的なリハビリテーションにも対応。紹介元の先生方と診療情報を共有し、状態が安定した後は原則として逆紹介することで、地域全体で患者さんを継続的に支える体制を整えています。



02 目指す姿

- 01 幅広い症例を受け入れる
- 02 エビデンスに基づく専門的な医療
- 03 患者背景に配慮した柔軟な医療
- 04 地域連携を重視した診療

外傷や変性疾患、神経障害など、幅広い手・肘の症例を受け入れます。エビデンスと臨床経験に基づき、生活背景に配慮して治療方針を検討。地域の先生方と情報を共有し、状態が安定した後は逆紹介することで、地域全体で患者さんを支えます。

03 対象疾患

●外傷・外傷後障害

橈骨遠位端骨折／手指骨折・脱臼／靱帯損傷／TFCC損傷／切創／腱損傷／神経損傷／骨折後変形 ほか

●変性疾患

ヘバーデン結節／ブシャール結節／母指CM関節症／手指・手関節の変形性関節症 ほか

●神経絞扼性疾患

手根管症候群／肘部管症候群／手指のしびれ・巧緻運動障害／末梢神経障害が疑われる症例 ほか

●炎症・腫瘍・感染

ばね指／腱鞘炎／ガングリオン／手指・手関節の腫瘍／関節リウマチに伴う手の障害／化膿性腱鞘炎・感染症 ほか

医師紹介



整形外科部長／手外科センター長

三戸 一晃

Kazuaki Mito

慶應義塾大学医学部卒(平成15年)

- ・日本整形外科学会専門医
- ・日本手外科学会専門医・指導医
- ・日本手外科学会代議員
- ・米国手外科学会(ASSH)国際メンバー

慶應義塾大学医学部を卒業後、同年に慶應義塾大学整形外科に入局。足利赤十字病院、大田原赤十字病院、済生会横浜市東部病院などの三次救急病院にて、外傷を中心とした手外科治療の経験を積む。2021年からスタンフォード大学整形外科でJeffrey Yao教授に師事し、CM関節症などCommon Diseaseに対する治療の考え方を学ぶとともに、臨床応用を念頭に置いた骨再生医療の基礎研究に従事。2024年より川崎市立川崎病院整形外科 手肘外科センター長に就任。日本手外科学会代議員、米国手外科学会国際メンバー、神奈川上肢外科研究会世話人。2026年5月に『自力でできるヘバーデン結節のリセット法』(アスコム)を出版。

当院ではこのたび、手や指、手関節、肘の外傷から変性疾患まで幅広く対応する「手外科センター」を開設しました。手外科専門医を中心に、保存療法・手術・リハビリテーションまで一貫して対応。専門的な診療を行うとともに、地域の先生方が気軽に相談できる連携拠点を目指します。

04 代表的疾患

手外科センターが専門的に対応する3つの疾患

橈骨遠位端骨折

観血的整復固定術
(プレート固定)



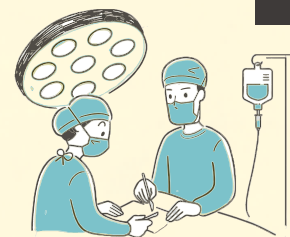
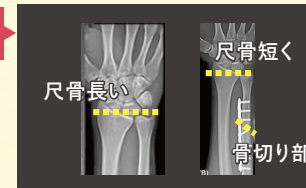
母指CM関節症

YAO法



TFCC損傷

尺骨短縮術



症例

橈骨遠位端骨折



69歳女性。自転車で転倒して受傷し、近隣医療機関を受診した翌日に当センターへご紹介いただきました。橈骨遠位端骨折に加え、尺骨茎状突起骨折を認めました。

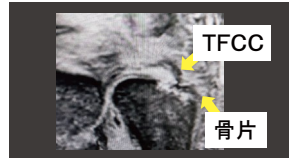
①橈骨の短縮と傾斜

受診時のX線画像。橈骨の短縮と掌側傾斜の消失に加え、尺骨茎状突起骨折を認めました。



②尺骨茎状突起骨片とTFCC

尺骨茎状突起の骨片にTFCCが付着していることを確認し、尺骨側の固定も必要と判断しました。



③粉碎と軟部組織への配慮

粉碎が強く、軟部組織の損傷も大きかったため、まず創外固定を実施。約1週間後、状態を確認したうえで内固定を行いました。内固定では、骨折型や骨片の位置に応じて固定方法を選択し、関節面を支えるように整復・固定しました。



※画像は一例です。症状により治療方法や経過は異なります。

05 治療後

手術後の機能回復から二次骨折予防まで

手術後は、ハンドセラピストと連携し、手関節や指の動きの回復を支援します。また、橈骨遠位端骨折を骨粗鬆症に関連する骨折の一つと捉え、必要に応じて骨密度検査や治療を実施。骨癒合や機能の回復を確認し、状態が安定した後は診療内容を共有したうえで紹介元の先生へ逆紹介します。



「診断に迷う」「治療方針に悩む」といった症例もご遠慮なくご紹介ください。どうぞよろしくお願いいたします。

